

野田ゆずる 議会レポート

令和7年第3回定例会報告

連絡先：事務所

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103

Tel&Fax 022 (739) 9630

<https://www.y-noda.net>

info@y-noda.net

■ご意見等がありましたらお気軽にお寄せください。



今回の議会レポートは、令和7年第3回定例会報告です。

今定例会では、条例案などのほか、補正予算案などの審議、令和6年度決算の審査を行いました。

代表質疑や一般質問では、出産育児支援金などの子育て支援、アニメ・ゲームコンテンツ活用などの観光戦略、森林地域でのメガソーラー開発抑止など、市政の幅広い分野について議論されました。また、学校施設環境改善交付金の十分な財源確保を求める意見書案が提案され、全会一致で可決され国へ送られました。

なお、本会議開会に先立ち、全議員による議長選挙が行われ、2009年～2011年に続き、2度目の第59代仙台市議会議長に就任いたしました。

令和7年第3回定例会 自由民主党代表質疑より

公約に込めた思いについて

質問 今回の選挙に当たり、市長は、笑顔あふれ世界から選ばれる仙台(まち)を公約に掲げられた。市長はこの言葉にどのような思いを込め、どのように市政運営を行っていく考えなのか伺う。

答弁 今期の市政運営に臨むに当たり、「笑顔あふれ世界から選ばれるまち・仙台」をテーマに掲げた。誰もが安心して安全に暮らせる環境の中で自分らしく活躍でき、日々の生活の中で笑顔になれるまち、これが私の思い描く笑顔あふれるまちでございます。

今後、本市独自の出産育児支援金の創設や屋内遊び場の整備などの施策にスピード感を持って取り組み、笑顔あふれるまちづくりを進めていく。

こどもたちの学びと成長を支える施策を立ち止まることなく前に進め、子育てに安心を届ける支援策にも力を注ぎ、また、人が行き交いにぎわいを創出して地域経済を活性化させる取組、防災環境都市としての国内外への発信など、これまでの取組を一層推進するとともに、さらなる施策の充実を図りながら、市民の皆様方が仙台に住んでよかったと実感していただける、そのような笑顔あふれるまちをつくり、その魅力を国内外に発信することで、世界から選ばれるまちとして仙台を次のステージへと力強く押し上げていく覚悟だ。

出産育児支援金について

質問 少子化対策は特に重視しなければならない。まず、市長が重点政策とされた出産育児一時金に独自の上乗せ助成について、最優先で取り組もうと考えた理由について伺う。

答弁 市内での出産に係る費用の平均が、国から保険料から払われます出産育児一時金50万円を上回っているという現状を踏まえ、本市独自に定額9万円を支給するもだ。支給対象は、出産日及び本支援金の申請時点において本市に住民票があって、出産育児一時金の対象となる本年10月1日以降に出産された方と考えている。

仙台市
出産育児一時金
9万円上乗せ



第二子以降の保育料負担ゼロについて

質問 他都市では、きょうだいの年齢に関係なく、第二子以降の全ての児童の保育料が無償化されているところもある。複数のお子さんをお持ちの家庭にとっては、これでもできるだけ早期の実現が望まれていると思うが、どのようなスケジュール感で進めようと考えているのか伺う。

答弁 子育てしやすいまちの実現に向けて、早急に取り組むべき課題であると認識している。

実施に向け、対象となるきょうだいの年齢制限の在り方や、認定こども園や認可外保育施設など、様々な施設が対象となり得ることから、施設によって支援の差が生じないように制度を整えていく必要もある。

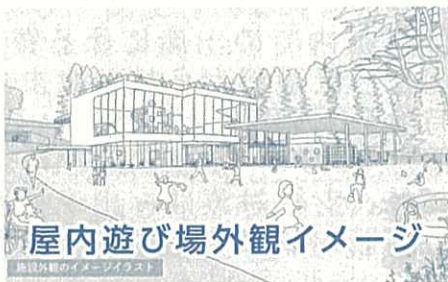
まずは、本市における様々な施設の利用状況の把握と、システム改修の検討など、可能な限り早期の実現に向けて、取り組んでいきたい。

屋内遊び場基本計画素案について

質問 施設規模や平面計画などが具体的に、遊び場のイメージが分かりやすく示され、どのような思いを込めて素案策定に至ったのか伺う。

答弁 素案では、こどもが主体的に遊ぶ自由度の高い空間づくり、また、屋内外の連続性をも配慮した上での配置とするなど、遊びの広がりにつながる機能を盛り込むとともに、インクルーシブな施設とするための機能や、立体駐車場の整備といったアクセス環境の向上など、施設の魅力を高めるための取組についても具体的かつ幅広く示している。

今後も、スピード感を持った取組と丁寧な検討、これを両立させながら、こどもの豊かな育ちを支え、市民の皆様が親しまれる魅力的な屋内遊び場の実現を目指していく。



のびすく仙台の移転拡充について

質問 移転理由と、具体的にどこに移転することを考えているのかお示ください。

答弁 開館から20年が経過し、設備や機能の充実を求める声が寄せられ、市中心部にある子育て支援の拠点として、仕事と子育ての両立という視点も踏まえ拡充を図ることが必要と考えた。移転先はアエル5階の中小企業活性化センター多目的ホールを候補地として、調整をしている。

この移転により親子の交流広場の拡充などが図られるとともに、事業者支援機能強化を図っておられる中小企業活性化センターと連携することで、仕事と子育ての両立支援の充実につなげていきたいと考

えており、今後、利用者や関係団体の御意見も伺いながら検討を進めていく。



富谷市の病院誘致による本市の医療体制への影響について

質問 結局は仙台市内の病床が減ることになるのではないかと。本市の医療への影響が懸念されるが、これに対する市長の所見と本市の対応について伺う。

答弁 本市としては、大学に検討状況を随時確認しながら、本市の医療提供体制への影響を見極めて、必要な対応を図っていくとともに、県に対しては、仙台医療圏、また本市の医療の在り方についてどのようにお考えなのか、これを示していただくよう強く求めていきたいと考えている。

仙台赤十字病院への対応について

質問 病院移転後の跡地をどう活用していくのかが大事だ。

地域の意向を直に把握し、本市が主体的に取り組む姿勢が必要だ。現在の取組状況を含め、御所見を伺う。

答弁 今般、地域の住民や医療関係者の方々との意見交換を開始し、病院移転後の医療機能の確保に対する大きな不安がある一方、県の対応が進んでいない。

市にはまちづくりの観点も含め引き続き意見交換を行っていききたいなどのお声をいただいている。

今後、さらに地域の皆様方の声を丁寧に伺いながら、本市としての考えを整理し、県に強く申し入れるとともに、土地を所有する日本赤十字社に対して協力を要請し、住民の皆様方が安心して、豊かに暮らすことができる地域づくりに向けて、力を尽くしてまいりたい。

医療政策に係る認識について

質問 本市医療の現状、将来の見通しに対する県の根本的な認識、方針に切り込んでいかなければ、またいずれ同じような問題が起きかねない。市長はこの問題についてどう考えるのか、所見を伺う。

答弁 本市の医療提供体制確保の重要性を抜きに、県下の医療政策の方向性を正しく見定めることはできないものと認識して

おります。

医療提供体制の確保に向け、来年度には、県の新たな地域医療構想の策定が予定されており、本市としては、将来を見据えて、どのような医療提供体制が必要となるのか調査分析を独自に行い、その結果を踏まえて、県に強く働きかけて、県の新たな構想が、より仙台市民の命と健康を守る地域医療体制につながるよう取り組んでいく。

今後の観光施策について

質問 豊かな食を中心とする仙台の魅力を強力に発信し、これまでの発信を超えて、官民が連携して取り組んでいかなければならない。そのためには、宿泊税も活用しながら、ハード、ソフトの両面から、中長期も見据えた思い切った投資を行っていく視点が求められる。今後の取組の方向性について伺う。

答弁 観光は地域を挙げての総力戦だ。その時々、社会経済情勢や観光客のニーズに機動的に対応し、一つ一つの施策の検証や不断の見直しを行っていくことが重要だ。そのため、宿泊をはじめ観光分野に携わる方々の生の声を伺うべく、今般、観光戦略推進検討会議を立ち上げた。

会議では、既存資源の磨き上げや発信力の強化、また、AIを活用したインバウンド向けの観光案内など、具体的な提言もいただき、今後の観光施策への皆様の大きな期待を実感した。こうした議論も踏まえ、宿泊税も活用した新たな取組にも果敢にチャレンジをし、仙台、東北の観光の未来を切り開いていく。

質問 来年度以降、宿泊税をどのように活用し、本市の観光の新たな時代を切り開いていくのか、意気込みも含め伺う。

答弁 今年度からの新たな観光戦略の下、新規市場の開拓にも力を入れていく考えで、とりわけ欧米市場については、東北ならではの歴史、土地に根差す文化、食の魅力、こうしたものを打ち出し、仙台を起点に東北各地への広域周遊を促す仕掛けづくりが重要と考えている。

県内1人1泊300円課税	
仙台市外の宿泊	300円全額⇨県
仙台市内の宿泊	200円⇨仙台市 100円⇨県

大規模な森林伐採を伴う太陽光発電事業に対する姿勢と対応について



質問 本市の姿勢と今後の対応について、市長の御所見を伺う。

答弁 森林の大規模な伐採を伴う太陽光発電事業は、防災や、水源涵養といった多面的機能を有する森林などの自然環境や、住民の生活環境にも著しい影響を及ぼすおそれがあり、もとより好ましくないとの一貫した考えの下、環境アセスメント手続の厳格化や国への要望を重ねてきた。

加えて、今般、指導方針を全面的に改定し、大規模な森林伐採を伴う太陽光発電については自粛を強く求めるという本市の姿勢を明確に打ち出した。

とりわけ、秋保長袋と上愛子にまたがる太陽光発電関連施設の事業計画については、今後、事業者の把握に向けて様々な手だてを講じ、自粛を強く求めていく。

加えて、国による法整備を要望するなど、関係機関と連携し徹底して事業抑止を図ることはもとより、さらなる手続の厳格化に向けて、関係条例の見直しも視野に入れながら、幅広く検討していきたい。

質問 条例を含む手続のさらなる厳格化、大規模な森林伐採や山林を破壊したメガソーラー設置は絶対認めないという確固たる意志を持って臨んでほしい、再度この決意を伺う。

答弁 今後とも、国に対しては速やかに法整備を求めるとともに、県等と連携を強め、自然環境の保全を図るほか、新たな指導方針に基づいて、各種手続が始まる前の段階から、事業者に対して立地の自粛を強く求めていく。

秋保長袋と上愛子にまたがる太陽光発電関連施設の事業計画については、私としても到底受け入れられないもので、今後、事業者の把握に向けて、様々な手だてを講じ、自粛を強く求めるとともに、さらなる手続の厳格化に向け、関係条例の見直しも視野に入れながら、幅広く検討していきたい。

公約実現に向けた財源の確保と活力あるまちづくりによる市民への還元について

質問 市長は、これから世界に選ばれるまち仙台の実現を図っていくために、どのようにして税源増を図り、雇用を生み、活気あふれ楽しく住みやすいまちとして市民に還元していこうと考えなのか伺う。

答弁 本市においては、市税収入が堅調に推移する中、社会保障関連経費の増加や資材単価の上昇のほか、引き続き物価高騰対策などに、国費の活用や基金取崩しなどを駆使しながら対応をしてきた。

さらに、子育て施策の充実をはじめ、さらなる人やまちへの投資につなげる好循環を実現して、本市が世界から選ばれるまちとなるように、持続可能な財政基盤の確立を図りながら、全庁一丸となって取り組んでいく考えだ。

18歳未満の国民健康保険料無償化について

質問 18歳未満の保険料無償化をどのように実現していくのか、考え伺う。

答弁 子育て世帯に対するさらなる支援として、国保財政調整基金の活用により、来年度から18歳未満の保険料無償化を進めていく。あわせて、本市をはじめ自治体の国保財政が厳しい状況であることを踏まえ、国の負担による全国一律の措置を引き続き国に求めていく考えだ。

水道の老朽管の対応状況と今後の取組について

質問 水道管の漏水はライフラインの寸断のみならず二次被害のリスクがあるなど、老朽管の更新は急務だと考えるが、本市における老朽管の対応状況を伺う。

答弁 老朽管の更新を着実に進めるためには、財源の確保も重要であると認識しており、財政支援の拡充について、関係自治体等とも連携しつつ、国への要望を行ってきた。

今後とも、様々な機会を捉えて要望する



とともに、国の交付金等を最大限に活用するなど、安定的な事業資金を確保しつつ、経営基盤の強化に努め、老朽管の更新を促進することで、安全・安心な水道水を安定的にお届けできるよう取組を進めていく。

青葉山エリアのさらなる魅力向上について

質問 これまでの発想を超えて、官民が連携して取り組んでいかなければならない。そのためには、宿泊税も活用しながら、ハード、ソフトの両面から、中長期も見据えた思い切った投資を行っていく視点が求められる。

今後の取組の方向性について伺う。

答弁 このエリアを本市の観光の拠点とすべく、仙台緑彩館においてすずめ踊りや伝統芸能の定期演舞を行っていくほか、夜の観光の魅力づくりの一環として、仙台城跡からの夜景を楽しめるラウンジの設置など、新たな取組も展開している。

今後、こうしたイベントの充実を図るとともに、中長期的な視点の下、伊達文化の魅力発信拠点としての機能強化や、都心部からのアクセスも含めたエリア内の二次交通の充実など、ハード面の取組も検討していく考えで、年間を通じて観光客や市民が楽しめるにぎわいの環境整備を図っていく。

旧さくら野跡地の利活用の状況と今後の取組について

質問 旧さくら野跡地の利活用について、どの程度状況を把握しているのか伺う。

また、建設費の高騰など厳しい事業環境を踏まえながらも、本市の顔とも言えるこの地区のまちづくりのビジョンを事業者理解してもらい、跡地利活用に向けた調整やサポートが必要であると考えているが、この点について当局の所感を伺う。

答弁 事業者としては、まずは安全面や衛生面を優先し、解体に向けた権利者との合意が調い、今般、準備に入ったところだ。

本市としては、開発促進に向けて引き続き個々の権利者と丁寧に意見交換を進めるとともに、支援策を拡充し、より積極的に関わり、仙台の顔となる駅前にふさわしいまちづくりに向け、鋭意取り組んでまいりたい。

他にも、多岐にわたり質疑を行った。